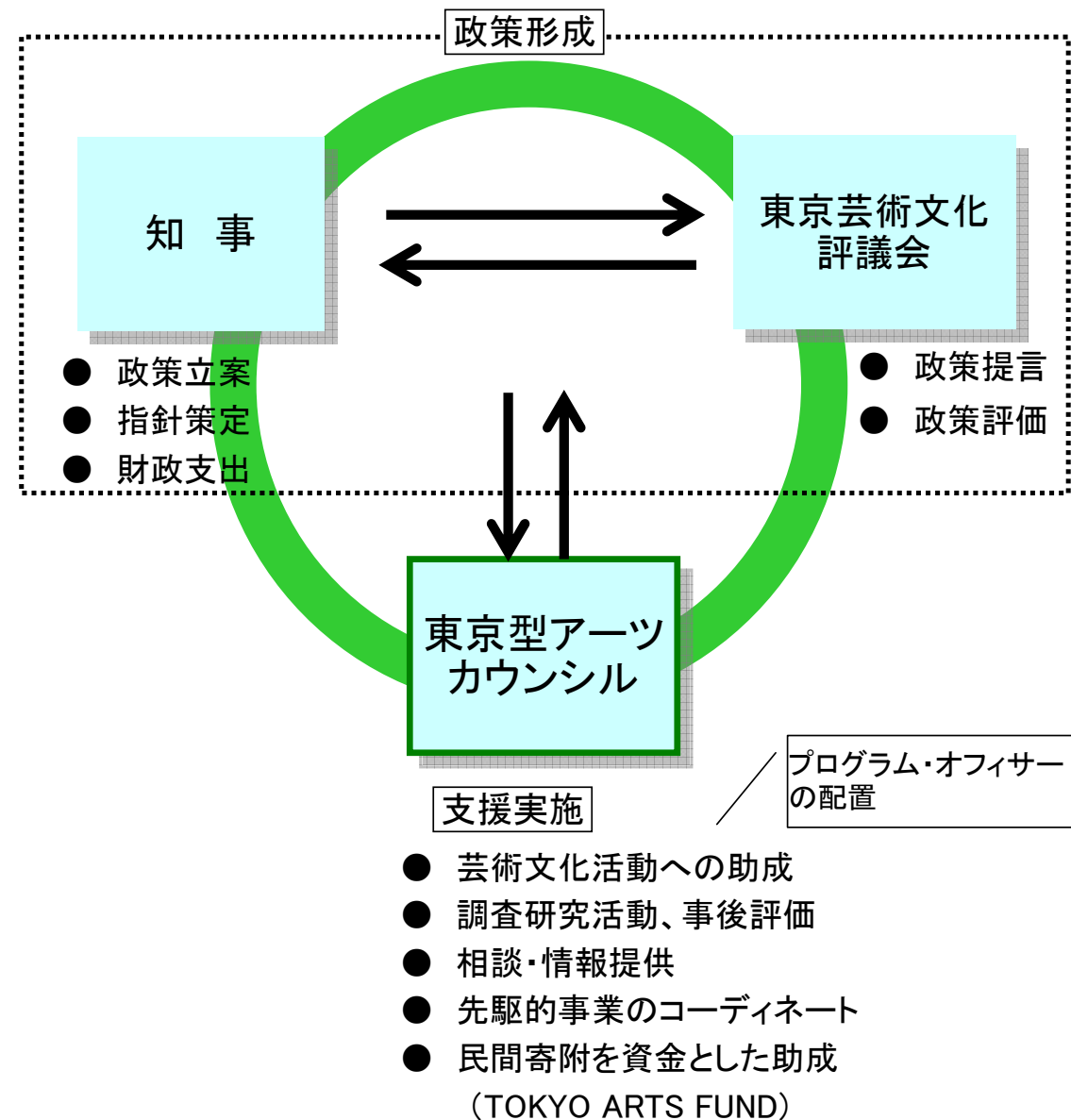


## 芸術文化支援の新たな推進体制（東京型アーツカウンシル）

### 東京型アーツカウンシルとは

- ・ 都から一定の独立性を保ちつつ、芸術支援プログラムの立案や実施、支援先の評価を行う専門機関
- ・ 東京芸術文化評議会の政策提言に基づき都が示す方針の下、芸術文化活動に対して資金や情報などによる総合的な支援を行う  
⇒「専門的かつ長期的な視点」に立った芸術文化活動の支援を可能とし、より効果的な文化振興を展開する

### 新たな推進体制



### 東京型アーツカウンシルの設置効果

芸術関連の専門家を配置し、現場の実情をもとに、すぐれた芸術文化活動の発掘など戦略的な支援を実施

- ① 調査研究活動に基づいた的確な助成プログラミング  
⇒ 具体的施策が政策目的に真に適ったものになる
- ② 審査機能の強化  
⇒ 将来性のある芸術活動への助成の重点配分が可能になり、効果的な助成が実現
- ③ 事後評価を適切にフィードバック  
⇒ プログラムの改廃、改善を合理的に行う仕組みができる
- ④ 助成金の交付に加え、情報やノウハウを提供  
⇒ 受け手側のマネジメント能力(=お金を有効に使う能力)を高められる
- ⑤ 民間寄附の受け皿を用意  
⇒ 民から民への資金の流れを促し、結果的に都費のみに頼らない芸術文化振興が可能となる

《設置先》  
芸術文化の振興を行う公益財団等